

参議院常任委員会調査室・特別調査室

論題	余白
著者 / 所属	清野 和彦 / 国土交通委員会調査室
雑誌名 / ISSN	立法と調査 / 0915-1338
編集・発行	参議院事務局企画調整室
通号	473号
刊行日	2025-2-27
頁	奥付
URL	https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/ripou_chousa/backnumber/20250227.html

※ 本文中の意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。

※ 本稿を転載する場合には、事前に参議院事務局企画調整室までご連絡ください (TEL 03-3581-3111 (内線 75020) / 03-5521-7686 (直通))。

余	白								
				清	野	和	彦		

新採用で調査室に配属され、とてもじゃないけどここでは食べていけないと思った私が、連載なんてことになろうなどとは全く想像していなかった。タイムマシンがあったら、1989年に戻り教えてやりたい。頼むよ、ドラえもん。

「プランドハップンスタンス理論」という考え方がある。キャリア形成は偶然により生じるもので、偶然を上手に活用したり、意図して呼び起こせるようにすることが大切だという。ただし、偶然だからと放置せず、発生の確率を上げるため①好奇心、②粘り強さ、③柔軟性、④楽観主義、⑤リスクを取ることを、の5要素が必要だとする。花田ほか訳（2005）の章立ては《想定外の出来事を最大限に活用する》、《選択肢はいつもオープンに》、《目を覚ませ！夢が現実になる前に》、《結果が見えなくてもやってみる》、《どんどん間違えよう》などと続く。不得意なことを前に、間違いながらも、とにかくやってみることを繰り返してきた楽観主義者の私には、思い当たる内容が並ぶ。

同書で、特に興味を引いたのは《『苦痛の終身刑』を拒もう》との一節だ。《人生のある時期に選んだ選択肢が、ある時点でもはや意味を持たなくなっていることに多くの人が気づきますが、このような状況に後ろめたさを感じる必要はだれにもありません。》《若い頃のキャリアの選択のせいで、『苦痛の終身刑』を務める必要はありません。》凝り固まった若い考え方から解放される鍵がある。

〔参考〕吉川雅也（2018）「社会的学習理論のコンテクストにおけるハップンスタンスの理解——キャリア形成への Happenstance Learning Theory の適用」『関西外国語大学研究論集』第108号

J. D. クランボルツ・A. S. レヴィン（2005）「その幸運は偶然ではないんです！——夢の仕事をつかむ心の練習問題」（花田光世・大木紀子・宮地夕紀子訳）ダイヤモンド社

本誌企画委員長（国土交通委員会調査室）

●編集後記● 本誌の企画に当たる企画運営部は今号で交代します。今期は議員を始めとする読者の皆様に少しでも有益な冊子とするべく、連載の形式で「担い手」を特集する新企画も行いました。「政策課題」を特集した今号も国会審議等で活用していただければ幸いです。〔環〕

次号予告 特集 第217回国会の法律案等の紹介(1)（令和7年4月14日）

- 本誌の掲載論文等の意見にわたる部分は執筆者個人の見解です。
- 本誌の掲載論文等を転載する場合には、事前に参議院事務局企画調整室までご連絡ください。
- 本誌の掲載論文等は、参議院ホームページ<www.sangiin.go.jp>及びイントラネットの「立法調査情報」でもご覧いただけます。
- 本誌のバックナンバーは、右記QRコードからご参照ください。



立法と調査 No.473

令和7年2月27日 発行

編集・発行 参議院事務局企画調整室

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-16
参議院第二別館内

TEL 03-3581-3111（内線75020）
03-5521-7686（直通）